

2016-9-28

小坪小学校区住民自治協議会

ミニバス導入（仮称）部会部会長 西頭 賢

逗子ハイランド「買い物支援の車」のヒアリング報告

日時 2016 年 9 月 26 日（月）11：00～13：00

場所 逗子清寿苑ミーティングルーム

参加者	ハイランド自治会長	大森 さま	名刺なし
	前 //	伊藤 さま（前清寿苑理事長）	名刺なし
	社会福祉法人百鶴（はくおう）清寿苑	理事長	加藤勝間
	認定 NPO 法人かながわ福祉移動サービスネットワーク	理事長	清水弘子
	//	事務局長	石山典子
	特定非営利活動法人全国移動サービスネットワーク	副理事長	川崎民子
	逗子市役所市民協働課 協働のまちづくり推進担当	専任主査	細野 裕
	その他ハイランド自治会・清寿苑関係者		4 名（お名前不明）
	小坪小学校区住民自治協議会部会	元田、西頭	
	計		13 名

1. 運行状況の視察

- ・ 11：30 西友逗子ハイランド店 店内放送で利用への呼びかけあり、
入り口と駐輪スペースの間で待機（一般車進入禁止）
- ・ ワンボックスカー8人乗り 助手席側ドアに「買い物支援の車」の表示あり
運転手のほかに介助者（荷物運び）1名同乗
運転手（浦川さん）はハイランドの地理熟知、雇用は清寿苑で全額負担
介助者は自治会役員が交代で担当、荷物を玄関までの搬入等を手助け
- ・ 乗降時のステップ台を用意
- ・ 一人ひとり利用者個人宅までお送りする。
利用者のお宅を把握した後、順路を決め降りる順番に座席順も決めている。
- ・ 利用者の方々の降車時の挨拶が、感謝の気持ちで満ち溢れていた。感動！！

2. 運行に至った経緯

逗子ハイランド（鎌倉ハイランドも含め以降逗子ハイランドという）の前理事長伊藤様が、清寿苑の理事長も歴任されていたこともあり、清寿苑の地域貢献の一環として送迎車の10時から15時までの空き時間を有効活用することで検討を開始した。

西友逗子ハイランド店さんも快く賛同して頂け、停留・出口経路の特別スペースも提供して頂いた。当初西友までの送迎を検討したが、ひきこもりがちな高齢者を外に連れ出し、西友までは下り坂のお宅が多いので少しでも歩いてもらうことをコンセプトとし、買い物の荷物が増える帰

宅のみとした。自宅までお送りする手助けをしている。

ただ、運用費用面で清寿苑さんにおんぶにだっこでいつまでも負担をかけるわけにはいかないのが悩みであるとのこと。

3. 運行システム

- ・ 料金は無料。すべて清寿苑負担（ワンボックスカー維持費、運転手賃金、燃料代等）
運賃を徴収すると道路交通法等の兼ね合いで厄介になるので無料とせざるを得ない。
- ・ 2015 年 12 月スタート 毎週 月・木 運行
- ・ 利用実績 2015/12 25 名、
2016/1 15 名、2 月 32 名、3 月 39 名、4 月 20 名、5 月 36 名、6 月 36 名
7 月 31 名、8 月 45 名
平均的に 1 回 4、5 名程度の利用
- ・ 対象者は歩ける方で、お迎えなし。
- ・ 保険の加入なし
同乗中の事故に対しては自動車保険で対応可能だが、車から降りてから玄関に入るまでに介助者が付いていながらケガを負わせてしまった場合でも、利用者個人責任の範疇としている。
（助言）→市が加入している市民活動（ボランティア）保険の賠償責任保険が適用される公算大。

4. フリーターキング

- ・ 清寿苑では 10 台の送迎車を保有。その 1 台でも地域貢献出来て大変喜んでいる。
- ・ 世田谷区駒沢で無料循環バス運行の情報あり。
てんぷら油の廃油を燃料とし、有力企業の支援で賄っているとのこと。
- ・ ほかの地域運営のミニバス等、高齢者のコミュニティになっており、顔見知りの人が増えた結果、認知症者の徘徊の早期発見にも役立っている。
- ・ 今日の運行状況をスマホで写真撮影していたが、利用者の別れ際の挨拶が感謝の気持ちで満ち溢れ感動的だったのでつい動画撮影してしまった。
持ち帰って行政職員に感動を伝えるために！
素晴らしい取り組みであり、参考にさせて頂きたい事例である。
ただ、行政にお願いしても動いてはくれない。住民自主活動で始めざるを得ない。
- ・ 来年度から社会福祉法人で剰余金がある法人は地域貢献に剰余金を使わなければならない（義務化）という法律が制定されるとのこと。要社会福祉協議会とコンタクト。
- ・ 南ヶ丘自治会世帯数は 300 に満たないが、昨年度の避難行動要支援者 12 名、本年度は 5 名と、この 1 年で 7 名も転出。ついの棲家にしたいのだが坂道を考えると・・・。
くらしの足の問題を解決すべを模索して行きたい。
- ・ 外出支援（移動サービス）担い手研修開催のお知らせ（県内 8 か所で毎月順次開催）
2017 年 2 月 2 日（木）22 日（水） 葉山町福祉文化会館 研修は 2 日間
講座実施・問い合わせ 認定 NPO 法人 かながわ福祉移動サービスネットワーク

神奈川県主催「移動（輸送）サービス従事者養成研修事業」

パンフレット添付 参照

・ 暮らしの足をみんなで考える全国フォーラム 2016 のお知らせ

「移動の問題」を本音で語り合おう、知り合おう、そして現場で元気に動き出そう」

2016 年 10 月 29 日（土）13：15～17：30、 30 日（日）9：30～16：30

会場 東洋大学白山キャンパス 参加費 3,000 円

参加者：当事者、行政職員、研究者、バス・タクシー事業者、福祉・介護・医療の従事者、NPO など

パンフレット添付 参照

5. あとがき

以前より、市民協働課の細野さんには協力支援をお願いしていた。但し、行政には期待はしていないが・・・。

福祉移動サービスネットワークの方々から逗子ハイランド自治会長あてに「買い物支援の車」の取り組みについて取材申し込みがあり、自治会長さまから細野さんにこの取材の情報が入っていた。たまたま別件で防災課に行った帰りに情報収集のためぶらっと協働課へ立ち寄ったおり、今日これから取材に同行するので一緒に行かないかとお誘いがあり同行した。

かねてより、逗子ハイランド自治会長、清寿苑理事長、「買い物支援の車」立ち上げの功労者の方々にどのようにコンタクトしようかと模索していたところの棚ボタであった。

またどのようにしてミニバス運行導入のための情報収集をすればよいのか思案していたが、「認定 NPO 法人かながわ福祉移動サービスネットワーク」（現在 3 名で活動）の存在を知り、全国の事例が収集されているようなのでかなりの情報が一気に集められそうである。

これで最初の一步が踏み出せた感がある。

これからの皆さま方のご支援ご鞭撻に期待したい。

以上

外出支援(移動サービス)担い手研修

開催のお知らせ

外出を支援する“たすけあい活動”で まちづくりに参加しませんか

坂の多い町での暮らし、高齢化による外出困難など、
私たちの住む地域の中には日常の
買物や通院にも困っているという人が多くいます。
研修に参加して、あなたも地域の中で「移動」に困っている人の
外出を支援するたすけあい活動に参加しませんか。



10月31日(月) 11月1日(火)	横浜市	横浜市市民活動支援センター
11月21日(月) 22日(火)	湘南西部・平塚市	ひらつか市民活動センター
12月5日(月) 6日(火)	川崎市	川崎市総合福祉センター 第3会議室 (エポックなかはら)
12月12日(月) 13日(火)	湘南東部・藤沢市	長後公民館 文化室
2017年1月23日(月) 24日(火)	県央・厚木市	あつぎ市民交流プラザ (アミューあつぎ)
2017年2月2日(木) 22日(水)	横須賀三浦・葉山町	葉山町福祉文化会館
2017年2月15日(水) 16日(木)	相模原市	相模原市立 麻溝公民館
2017年3月6日(月) 7日(火)	県西・南足柄市	りんどう会館

■お申し込みは、各開催日の1週間前までにFAX・MAILにてお申し込み下さい。

■受講料：無料

【昨年度の受講生の声】

地域で家事やお買物のお手伝いのボランティアをしている。生活支援には車の送迎は欠かせないので
これからも自信を持ってお手伝いしたい。(相模原会場)

息子がボランティアさんの送迎でお世話になってきた。
退職したので、地域に貢献できることを探していた。

外出支援、ぜひ、やってみたい！(横浜会場)

これからの自治会活動を考えたとき、地域で高齢者の

外出の支援活動は重要になってくる。参加する人同士のつながりも出てくると思う。(県西会場)



講座内容

神奈川県「移動（輸送）サービス従事者養成研修事業」／実施団体 かながわ福祉移動サービスネットワーク

講座名	講座内容
【第1日】10:00~16:00	
住民参加の意義と 移動サービス	住民が主体的にまちづくりに参加する意義・外出支援活動の重要性。 また、介護保険・地域包括ケアシステムにおける地域の共助について。
住民参加型サービスの 実践について	住民参加型のサービス（外出支援）の創出と実践 福祉有償運送（移動サービス）／ボランティア送迎／地域循環型のりあい送迎やサロン送迎／社福の車両活用による買い物バスや、サロン送迎実践の様子を紹介する
まちづくりワークショップ	地域の課題を話そう
【第2日】10:00~16:00	
利用者理解	認知症、引きこもりなど高齢者の特性や、さまざまな障がいについて学ぶ
安全運転とリスクマネジメント/運転の心構え	車を使った送迎活動の安全・安心、リスクマネジメント（活動や自動車の保険含む）の基礎学習と、交通法規を学ぶ。また、運転技術だけでなく、高齢者や障がいのある人に対する理解・配慮について。
接遇介助の基礎知識	実際に活動に参加するときどんな介助が求められているか、介助の基本を学ぶ（歩行時の介助クルマへの乗降時の介助） 福祉車両乗降時の注意点
介助実習	車いすを使った介助実習 歩行介助など、基本的な介助を実習する



■参加申し込みはこちらから

会場名	■会場名に○をお付けください 横浜 平塚 川崎 藤沢 厚木 相模原 葉山 南足柄			
参加者氏名			年齢	
住所	〒 -			
連絡先	TEL	()	FAX	()
	MAIL	@		
■地域で参加されている活動がありましたらご記入ください（例：自治会、民生委員、NPO 活動など）				

講座実施・問い合わせ：認定NPO法人 かながわ福祉移動サービスネットワーク

TEL： 045-534-6718 FAX： 045-472-1710

URL： <http://www.kanagawa-welfare-net.org/>

E-mail： kanagawa-icounet@b04.itscom.net

10/29(土)
10/30(日)

東洋大学白山
キャンパス

くらしの足を みんなで考える

全国フォーラム 2016

「移動の問題」を本音で語り合おう、
知り合おう、そして現場で元気に動き出そう



10/29(土) 13:15~17:30

くらしの足概説

■加藤博和氏 (地域公共交通プロデューサー・名古屋大学大学院
環境学研究科准教授)

事例紹介セミナー

地域を元気に「くらし」と「足」の上手なつき合いがたとは

■大井尚司氏 (大分大学経済学部准教授)

■景山享弘氏 (鳥取県日野町長)

(他の登壇者を調整中)

グループディスカッション

セミナーを受けて、立場の違う参加者が、
くらしの足についてそれぞれの意見を
交換し合います。

●懇親会 17:30~19:30



少子高齢化が進む中で、日常の通院や買い物等に困難を抱える人々が全国で増え続けています。このくらしの足の問題を解決するために、当事者、行政職員、研究者、バス・タクシー事業者、福祉・介護・医療の従事者、NPOなど、多くの関係者が集まり、地域を越え、立場を越え、利用者、生活者の目線をベースとして本音で語り合い、お互いを知り合い、それぞれが抱える問題解決のヒントを得る「気づき」の場として、本フォーラムを開催します。くらしの足の問題を意識し、何とかしたいと考えている皆さん、ぜひご参加ください。

◆会場：東洋大学白山キャンパス

(東京都文京区白山5-28-20)

◆参加費：3,000円 (1日、両日参加共)

※当日会場でお支払いください。

◆対象者：移動の問題を意識し、何とかしたいと考えている方々ならどなたでもご参加ください。

10/30(日) 9:30~16:30

基調講演・対談・取組紹介 (ポスターセッション) 日中英語

基調講演・対談

地域を元気にする「種」をくらしの足でカタチにする

■吉田 樹氏 (福島大学経済経営学類准教授)

■村瀬 茂高氏 (WILLER ALLIANCE 代表取締役社長)

白熱討論

元気な「くらしの足」をつくりだす

■山田 和昭氏 (若桜鉄道代表取締役社長)

■野村 文吾氏 (十勝バス代表取締役社長)

■貞包 健一氏 (三ヶ森タクシー代表取締役)

■加藤 博和氏 (地域公共交通プロデューサー・名古屋大学大学院環境学研究科准教授)

取組紹介 (ポスターセッション)

全国各地の「くらしの足」に関する具体的な実践について、それに取り組む地域住民、事業者、自治体などの方々が直接紹介します。

参加者と直接の意見交換もできる機会です。紹介ご希望の方、ぜひ裏面からお申込みください。



後援 (申請予定)

国土交通省、厚生労働省、(社)全国社会福祉協議会、東洋大学国際共生社会研究センター、名古屋大学大学院環境学研究科附属持続的発展教育研究センター、(一社)日本民営鉄道協会、(公社)日本バス協会、(一社)全国ハイヤー・タクシー連合会、(一社)全国個人タクシー協会、(一財)全国福祉輸送サービス協会、全国交通運輸労働組合総連合、日本私鉄労働組合総連合会、(一社)全国子育てタクシー協会、(特非)市民福祉団体全国協議会、(特非)DPJ日本会議、(特非)全国移動サービスネットワーク

主催 ぐらしの足をみんなで考える全国フォーラム実行委員会

実行委員長：岡村敏之(東洋大学教授)、副実行委員長：加藤博和(名古屋大学准教授)

共催 (公財) 交通エコロジー・モビリティ財団

協力 東洋大学 (株) 東京交通新聞社 (TEL: 03-3352-2181)



参加申し込み・お問い合わせ先

ぐらしの足をみんなで考える
全国フォーラム実行委員会事務局

[TEL] 03-3304-5227 [FAX] 03-3304-5227

[E-mail] info@kurasinoasi.com

〒156-0056 東京都世田谷区八幡山1-7-6

せたがや移動ケア事務所内

http://zenkokuforum.jimdo.com/

くらしの足をみんなで考える全国フォーラム 2016

プログラム

第1日目 (10月29日)

- 12:30 受付開始
- 13:15~13:25 趣旨・進行説明
- 13:25~13:55 くらしの足概論
- 14:00~15:30 事例紹介セミナー
- 15:40~17:30 グループ
ディスカッション
- 17:40~19:30 懇親会



フォーラム 2015 より

第2日目 (10月30日)

- 9:00 受付開始
- 9:30~9:50 趣旨説明・
ショートスピーチ
- 9:50~11:30 基調講演・対談
- 11:30~14:50 取組紹介
(ポスターセッション)
- 15:00~16:30 白熱討論
- 16:30 閉会



フォーラム 2015 より

取組紹介 (ポスターセッション)

…▶ 取組紹介者を全国から募集中

ホームページから申し込みをお願いします。 <http://zenkokuforum.jimdo.com/>

【テーマ例 (以下)、当日は応募ポスターの内容で再分類されます】

住民が担う地域交通 自治体・事業者が提供する新しい地域交通

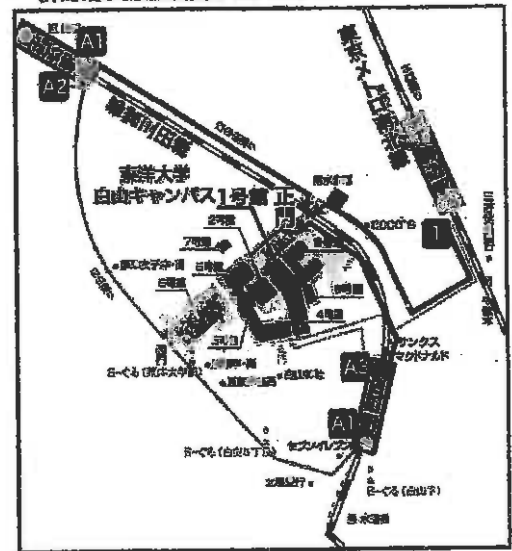
タクシー・バス事業者の先進的取り組み パーソナルモビリティとくらしの足

くらしの足の担い手育成、中間支援 情報ツール・製品・サービス 等です。



会場

●東洋大学白山キャンパス1号館
(東京都文京区白山 5-28-20)



〈交通〉

- 都営地下鉄三田線「白山」駅/A3 出口から「正門・南門」徒歩 5 分
- 都営地下鉄三田線「千石」駅/A1 出口から「正門・西門」徒歩 7 分
- 東京メトロ南北線「本駒込」駅/1 番出口から「正門・南門」徒歩 5 分
- 東京メトロ千代田線「千駄木」駅/1 番出口から「正門・南門」徒歩 15 分
- JR 山手線「巣鴨」駅/南口から「正門・西門」徒歩 20 分
- 都営バス「東洋大学前」下車(草 63 系統:池袋駅~浅草寿町)

申込方法

⇒「くらしの足をみんなで考える全国フォーラム」のホームページの申込画面からお申込み下さい。

▶ <http://zenkokuforum.jimdo.com/>

⇒ホームページからの申し込みが難しい方は、必要事項 (以下) を記載してFAXしてください。

▶ FAX 03-3304-5227 (くらしの足をみんなで考える全国フォーラム実行委員会事務局)

スマホからの申し込み



氏 名	TEL: — —		
所属(団体・会社)			
住 所	〒		
参加の方法	①一般参加 (3,000 円) ②ポスター展示で参加 (参加費無料)		
参加日	①両日参加 ②10/29 のみ参加 ③10/30 のみ参加		
10/29 懇親会	①参加する (3,000 円) ②学生参加 (1,000 円) ③参加しない		
10/30 お弁当	①希望する (800 円) ②希望しない		

注1)「参加の方法」「参加日」「懇親会」「お弁当」は、ご希望に○を記入ください。

くらしの足をみんなで考える全国フォーラム実行委員会事務局 (e-mail) info@kurasinoasi.com